



© Cristina Wiltermeyer



© Joel Vogel

自然を守ることは、人間を守ること。



PEOPLE NEED NATURE TO THRIVE.

MEASURING IMPACT

81万4千km²の保護地域

パートナーとの協働により、81万4千平方キロメートルにおよぶ陸域および沿岸地域の保護活動を支援。さらに、80万平方キロメートル以上が再生過程にある。



22億トンの炭素

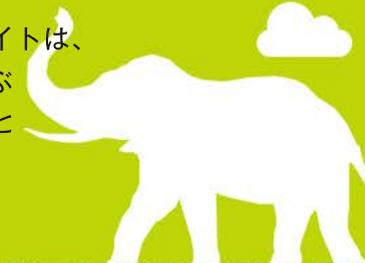


22億トンの「回収不可能な炭素」※を蓄積している重要な生態系が守られた。

※熱帯林やマングローブ、泥炭湿地など複雑な生態系が保有している膨大な炭素は、それら生態系が破壊し、放出されてしまうと、気候危機回避の目標年までに回収が不可能なことから、このように呼ばれる。

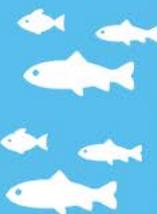
1,500の絶滅危惧種

CIのプロジェクトサイトは、1,500種以上におよぶ絶滅危惧種の生息地となっている。



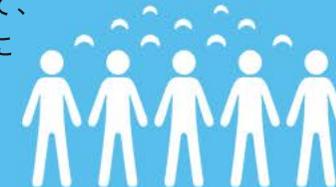
700万km²の海洋

保護区の拡大を目的とする、CIの「ブルーネイチャーアライアンス」は、700万平方キロメートルにおよぶ海洋を新たに保護し、管理改善を実施するパートナーを支援した。



380万以上の人々

CIの取り組みによって、380万人以上の人々に恩恵がもたらされた。



2021年、コンサベーション・インターナショナルは、プロジェクトサイトのモニタリングを構築し、現地オフィスを構える30カ国において、支援現場での直接的な活動の成果を測定しました。CIのモニタリング指標には、保護面積、炭素貯蔵量、CIの活動による受益者数、そして保護

された生物種数などがあります。これらの指標は、科学的根拠に基づいて標準化されたものであり、CIが世界1,300以上の現場で展開する活動による影響を定量化するものです。このフレームワークを採用することで、私たちの活動がもたらす影響を把握することができます。

MESSAGE

2021年は、持続可能な社会を実現するための「決定的な10年」の1年目、世界は引き続きパンデミックに苦しんだ一方で、カーボン・ニュートラルへの意識と取り組みは世界的に高まりました。

気候会議COP26では「森林破壊ゼロ」や「プラネット・ポジティブ」に多くの国や企業がコミットメントを表明しました。気候危機は、地球の危機であり、排出量の削減だけではなく、人間社会の自然との関わり方を根本的に見直す必要があることが認識されたのではないかと思います。

これからも社会全体で協力して「変革」を成し遂げられるよう、CIとして努力して参ります。今後ともCIジャパンの活動へのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

一般社団法人コンサベーション・インターナショナル・ジャパン 代表理事
コンサベーション・インターナショナル バイスプレジデント

日比 保史



OUR VISION



私たちは、ヒューマンウェルビーイングを「衣食住が足りて、健やかで、選択の自由があり、社会とのつながりの中で、平和に暮らせること」と定義し、全ての人々のウェルビーイングの達成を最終的な目標にしています。それを可能にする社会の根底を支えるのは、豊かな生物多様性による

生態系サービスであり、経済社会の中において「自然資本」と位置づけられています。健全な自然基盤の上に、持続可能な社会システムが形成されることで、全ての人々のウェルビーイングが達成されるのです。

OUR PRIORITIES

NATURAL CLIMATE SOLUTIONS

自然の力で 気候を守る

企業や政府のパートナーと協力しながら、経済活動が森林におよぼす影響を評価し、森林保護への民間投資を推進しています。さらに、そうした森林に暮らす先住民族コミュニティが主体する保全活動を支援し、気候変動の原因となる炭素を固定する機能を持つ大切な森林を守っています。

OCEAN PROTECTION

海洋保護の規模を 2倍に

持続可能な漁業の新たな方法を開発しながら、世界の海洋保護の規模を2倍にすることを目指しています。この目標を達成するために、各国が自国の海の安全を確保し、適切な管理とモニタリングが実施できるよう支援しています。また、気候政策に沿岸生息地を含めること、水産業における有害な慣行の撤廃を目指しています。

PLANET-POSITIVE

プラネット・ポジティブな 経済の普及

人と自然にとって最も重要な地域において、大規模な生態系に焦点を当てながら、国ごとに適応できる自立的で拡張可能な自然保護モデルを構築するために「地球環境をより良くする」経済を促進します。大切な自然資源の保護と需要のバランスを保ちながら、自然保護のための新たな資金調達と商品の生産モデルを開発しています。

APPROACH

SCIENCE

科学

CIは国際的な科学者チームを持つ、数少ない環境保全団体の一つです。科学は、常に私たちの活動の指針であり、戦略と手法開発の基礎となっています。

FINANCE

ファイナンス

自然を破壊するよりも、生かし育むことの価値を明らかにし、自然への投資を、実行可能で価値ある投資にしています。環境債務スワップや炭素基金など、ファイナンスに変革をもたらします。

INDIGENOUS COMMUNITIES

先住民族

先住民族の権利を守ることは、目標の達成に不可欠です。先住民族コミュニティは世界全体の20%の土地しか管理していませんが、そこへ生物多様性の80%が集中しています。

GOVERNMENTS

政府

国が主導する政策は重要な役目を持っています。CIは各国政府に最先端の科学的知見を提供することで、環境保全と人間の幸福を実現するための最適な政策決定を導きます。

CORPORATIONS

企業

企業は、事業が依存する自然を守るために、環境面、社会面で責任ある実践方法を取り入れる必要があります。CIは業界内や異業種間へ働きかけ、より大規模に持続可能な生産を支援しています。

WHERE WE WORK

© Piotr Naskrecki / © CI photo by Rowena Smuts / © Pete Oxford iLCP / © CI photo by Haroldo Castro / © Georgina Goodwin
 © CI photo by Haroldo Castro / © Art Wolfe / © CI photo by Chandra Arief / © William Crosse / © CI photo by Yakonias Thonak

The map highlights four primary regions: **中南米** (Latin America and the Caribbean), **アフリカ** (Africa), **アジア・太平洋** (Asia and the Pacific), and **ヨーロッパ** (Europe). Each region is marked with a red 360-degree VR icon. The map also shows the locations of Conservation International Offices (indicated by open circles) and the Global Support Center (indicated by a solid circle).

中南米 (Latin America and the Caribbean): Includes labels for Seattle, United States, Mexico, Costa Rica, Ecuador, Peru, Bolivia, Colombia, Guyana, Suriname, and Brazil. A 360-degree icon is located near Mexico.

アフリカ (Africa): Includes labels for Europe, Liberia, Kenya, Madagascar, Botswana, and South Africa. A 360-degree icon is located near Kenya.

アジア・太平洋 (Asia and the Pacific): Includes labels for China, Japan, Philippines, Cambodia, Singapore, Indonesia, Timor-Leste, Australia, New Caledonia, New Zealand (Aotearoa), Fiji, Samoa, and Hawaii. A 360-degree icon is located near China.

Regional icons include: a blue frog (Latin America), a leopard (Africa), a yellow flower (Asia/Pacific), and a woman in traditional red attire (Africa).

CIは、1987年の創設以来、すべての人々のウェルビーイングを達成するために、自然が人類にもたらしている便益に焦点を当て、重要な自然生態系の保全活動を行っています。フィールドワークと科学、政策、革新的なファイナンスを組み合わせることで、70か国以上で、600万平方キロメートル以上の陸と海を保護しました。

360° 現地プロジェクトについての詳細はアイコンをクリックして360°VRをご覧ください。
 中南米 " Under The Canopy "
 アジア・太平洋 " Valen's Reef "
 アフリカ " My Africa "

ANNUAL REPORT FY21

年次報告書

2020年7月-2021年6月





ダイキン工業 空気をはぐくむ森プロジェクト

地元の人々と共に世界の森を守り、育てる

2008年に始まった連携は、2014年、ダイキン工業の90周年記念事業として世界6カ国に拡大しました。対象地であるインドネシア、カンボジア、中国、リベリア、ブラジル、そしてインドの森は、人々の暮らしと豊かな生物多様性の拠り所です。各地域に適した取り組みにより、貧困を削減しながら、森を守り、育てています。

ダイキン工業 洲上奈央子様

CIのグローバルネットワークや専門的知見のおかげで、世界の潮流や地域住民のニーズを理解できます。私たちは地球環境だけでなく人々の幸せにも貢献できるこれまでの活動を誇りに思っています。



シチズン時計 PROMASTERを通じた海洋保全

すべての人にとって大切な海を守る

海は地球の表面の約7割を占め、地球のシステムを維持する重要な役割を担い、気候の調整、食料や医薬品などの重要な天然資源を提供しています。一方で、生態系バランスの悪化、乱獲による資源の枯渇、プラスチックごみの流出などの脅威にさらされています。シチズン時計とのパートナーシップでは、ダイバーズウォッチ「PROMASTER」を通じた海洋保全を推進しています。

シチズン時計 ご担当者様

私たちのダイバーズウォッチが、一人でも多くの方々にとって、美しい海の「いま」、そこに潜む問題について知り、海洋保全について考えるきっかけとなるよう、引き続きCIと共に、さまざまな発信をして参ります。



© Jeremy Holden

三井物産 カンボジアにおけるREDD+

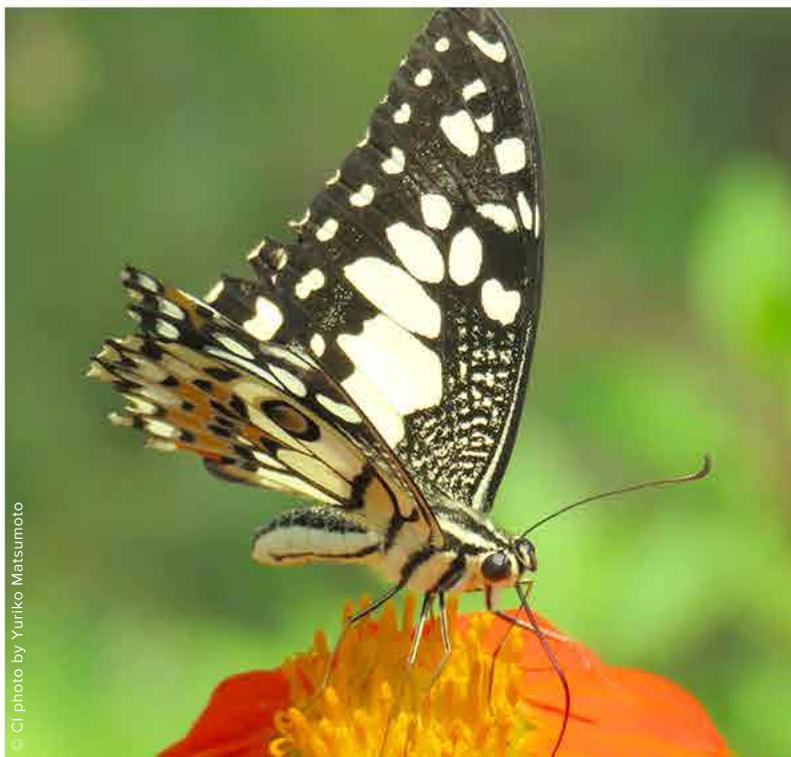
日本政府の二国間クレジット制度を活用した先進的な取り組み

プレイロング地域は、絶滅危惧種を含む多くの野生生物が生息するインドシナ半島最大級の熱帯低地林であり、人々の生活を支える大事な水源地ですが、農地転換による森林減少が進んでいます。三井物産とカンボジア環境省との連携により、地域住民の代替生計手段開発と国立公園管理の改善を通じた森林保全を行っています。



CIジャパン 浦口あや

森林保全は、気候変動抑止に不可欠です。REDD+の活用は、森を守ること、森を守るための資金を生み出す、新しい取り組みです。



© CI photo by Yuriko Matsumoto

カンボジア・中央カルダモン山地国立公園 チョウ飼育プロジェクト

森と共生するビジネスの確立

チョウは種類ごとに食草が異なるため、豊かな森林生態系を維持する必要があります。アフリカや中米では生計向上と森林保全と両立する取り組みとして注目されてきました。カンボジアでは2019年からKoh Kong州のTa Tei Leu村で本プロジェクトが始まり、農村女性が集まる場としても重要な役割を果たしています。



CIジャパン 松本由利子

今後は環境教育を積極的に行い、カンボジアの昆虫少年／少女が育つような機会をたくさん作っていきたく考えています！



日産自動車 インドネシア・バリ島森林再生

ridge-to-reef (尾根からサンゴ礁まで) プロジェクト

聖地アグン山で、陸と海のつながりを取り戻す

インドネシア・バリ島の聖地アグン山の山腹では、森林の荒廃が進み、周辺の水不足や下流沿岸のサンゴ礁やダイブスポットへの土壌流出により、地域経済や人々の生活を脅かしています。本プロジェクトでは日産自動車のご支援により、流域全体で森林再生、生計手段の開発、環境教育を通じた陸と海の統合管理を目指し活動を行いました。



CIジャパン 高松美穂

2017年から4年間のパートナーシップによるこの取り組みは、自然保護を通じて現地コミュニティに様々な成果をもたらし、企業とNGOが連携して生み出せるインパクトが明らかになった事例の一つです。



SPINクラウドファンディングキャンペーン

ジンベイザメ タギングプロジェクト

ジンベイザメの行動を追い、 持続可能で豊かな海を守る

「すべての魚の母」として敬われているジンベイザメ。絶滅危惧種ですが、その生態は未だ多くが謎のままです。ジンベイザメに衛星タグを付けて生態を明らかにすることで、効果的な保護や人間とより良い関係を築くことを目指しています。

プロジェクト支援者 赤井清水様

海の世界では地球規模での取り組みが必要だと考えています。多様性の象徴でもあるジンベイザメのプロジェクトを通じ、多くの絶滅危機種が守られ、人間の活動が引き起こす様々な課題が解決されることを期待しています。



クリティカル・エコシステム・パートナーシップ基金 (CEPF)

生物多様性ホットスポットの保全を直接的に支援する国際基金の運営

日本政府、世界銀行、地球環境ファシリティ、フランス開発庁、欧州連合とともに共同出資し、CIが事務局を務めるCEPFは、20年以上にわたり、生物多様性ホットスポットの保全活動を支援しています。これまで1,570万ヘクタールの地域が新たに保護され、16万人以上が環境トレーニングを受け、570の新たな保全ネットワークが構築されました。



CIジャパン 日比保史

CEPFの助成は、長期間に渡る支援のため、明確な効果が現れています。国内活動グループへの支援にも展開されることを期待しています。



持続可能な生産と消費へのアプローチ

大規模なスケールで展開する持続可能性への挑戦

持続可能な社会構築は、皆で共に取り組む必要があるため、業界全体を巻き込む働きかけを続けています。スターバックスコーヒーと共同で立ち上げた「サステナブル・コーヒー・チャレンジ」や、ケリングとともに創設した「自然再生基金」などにより、倫理的な原材料調達へ向けた取り組みを支援しています。

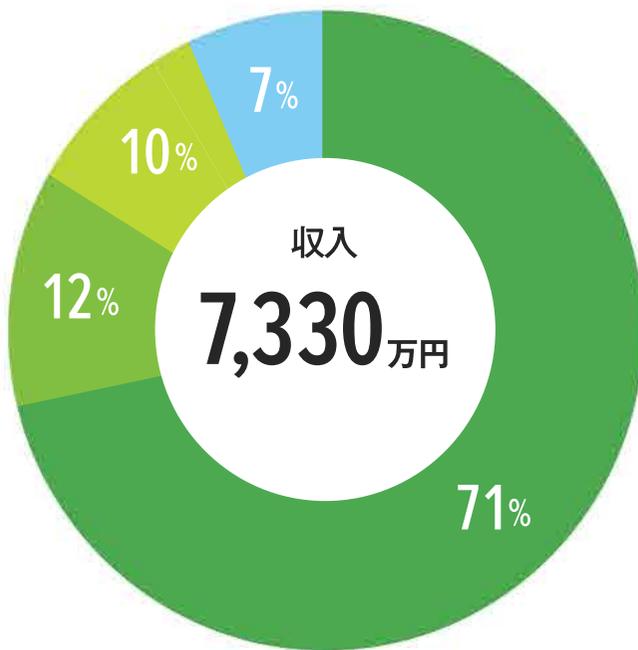


CIジャパン 磯部麻子

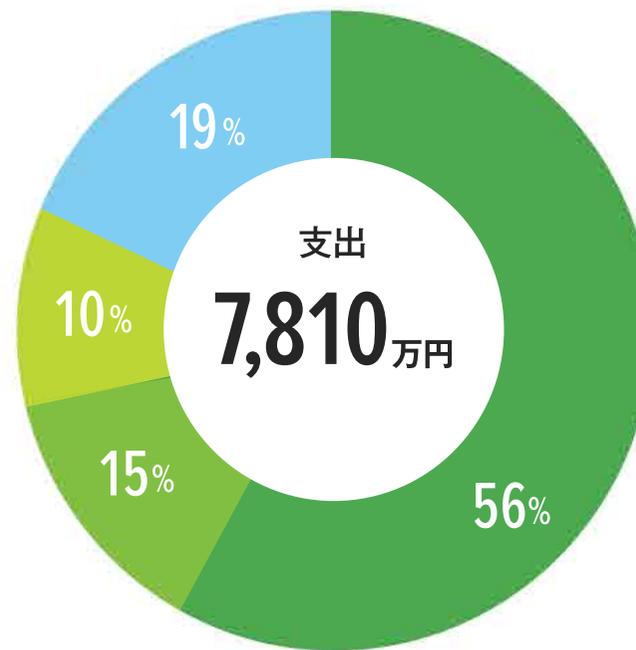
コーヒーも、ファッションも、個人の生活にとって身近なものなので、そうした業界が変化を起こすことで、消費者一人ひとりが、自分ができることを考えるきっかけにもなっていると思っています。

REVENUE & EXPENSES

2020年7月 - 2021年6月



- 寄付金収入 71%
- 請負事業収入 12%
- 助成金収入 10%
- その他収入 7%



- 現地プロジェクト 56%
- 広報/資金調達 15%
- 政策提言/企業アドバイザー 10%
- 一般/プロジェクト管理費 19%

PARTNERS

政府機関

外務省
環境省
財務省
林野庁
独立行政法人国際協力機構(JICA)

国際機関・国際ネットワーク

Climate Action Network Japan (CAN-Japan)
クリティカル・エコシステム・パートナーシップ基金
国際自然保護連合日本委員会
国連大学
SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ
自然資本コアリション
生物多様性条約事務局
地球環境ファシリティ

基金・財団

公益財団法人 旭硝子財団
公益財団法人 イオン環境財団
公益信託 経団連自然保護基金
公益財団法人 国際緑化推進センター
公益財団法人 笹川平和財団
公益財団法人 損保ジャパン日本興亜環境財団
公益財団法人 日本財団

企業

ANAホールディングス株式会社
株式会社イースクエア
WED株式会社
エーアンドイーネットワークスジャパン合同会社
ESRI ジャパン株式会社
QUICK ESG研究所
株式会社クレアン
株式会社ケリング ジャパン
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
シチズン時計株式会社
新菱冷熱工業株式会社
スターバックス コーヒー ジャパン株式会社
ダイキン工業株式会社
トヨタ自動車株式会社
トヨタ紡織株式会社
日経ESG経営フォーラム
日産自動車株式会社
株式会社野村資本市場研究所
Freewill, Inc.
ホワイト&ケース法律事務所
ホワイト&ケース外国法事務弁護士事務所(外国法共同事業)
本田技研工業株式会社
株式会社ミカフェート
三井物産株式会社
三菱商事株式会社
UCCホールディングス株式会社
りそな銀行

学術機関

学習院大学
鹿児島大学
上智大学
公益財団法人 地球環境戦略研究機関
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
広島大学
酪農学園大学

NGO / NPO

一般社団法人 SDGs市民社会ネットワーク
EnVision環境保全事務所
SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク
一般社団法人 Think The Earth
公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)
公益社団法人 日本環境教育フォーラム
一般社団法人 バードライフ・インターナショナル東京
一般社団法人 緑の循環認証会議
一般社団法人 moretrees

五十音順

ORGANIZATION

コンサベーション・インターナショナル
Conservation International (CI)



設立 1987年
本部 米国ヴァージニア州アーリントン
CEO M・サンジャヤン
オフィス 30カ国
スタッフ 約1,000名

一般社団法人 コンサベーション・インターナショナル・ジャパン
CIジャパン



設立 1990年
代表理事 日比 保史
所在地 〒160-0004
東京都新宿区四谷1丁目17 MEISTER YOTSUYA 201号室
Email japan@conservation.org



自然は人間を必要としない。人間には自然が必要。

NATURE DOESN'T NEED PEOPLE. PEOPLE NEED NATURE.

ハリウッド俳優たちが自然からの”声”を担当する、
CIのショートフィルム「Nature Is Speaking」
あなたも自然からのメッセージに耳を傾けませんか？



動画をご覧ください